

句集

# 絵巻物

浅田光喜

本阿弥伴句選集6期

稲光途切れ途切れの絵巻物

王朝文学に心を置きつつ、  
茶の心も知る。

そうした美しい心と通い合うものが  
この『絵巻物』には確かにある。

今瀬剛一 (『序』より)



ゆつくりと白百合開く夜明けかな

人声に驚き発ちてあげは蝶

喜びに震へるがごとく梅咲けり

蛇の腹白きところが気の弱さ

雲の影近づいてくる藤の花

菜の花は白雲を呼ぶときかな

鴟  
の  
贅  
力  
漲  
る  
松  
の  
枝

雑  
巾  
を  
絞  
る  
か  
た  
ち  
に  
木  
槿  
散  
り

紫陽花の咲きたてといふ笑顔かな

箱詰めの柿健康を誇りけり

ポ  
ケ  
ッ  
ト  
に  
手  
袋  
の  
見  
え  
授  
業  
中

新  
し  
き  
消  
し  
ゴ  
ム  
ば  
か  
り  
受  
験  
生

シ  
ク  
ラ  
メ  
ン  
カ  
ー  
テ  
ン  
白  
き  
保  
健  
室

古  
書  
街  
の  
日  
向  
の  
数  
や  
シ  
ク  
ラ  
メ  
ン

漢文の連続レ点振れ花

内裏雛襟に乱れの無かりけり

直線に斜線ぶつけて水戸の梅

田に水を平らに集め蛙鳴く

無作法な音でぶつかり黄金虫

赤蜻蛉風の中から風生まれ

正面は風の入  
り口寒牡丹

鱈場蟹折りた  
たまれて積ま  
れをり

風通るたびに輝くさくらんぼ

箱よりも大きな葡萄を引き出せり

玄  
関  
を  
大  
き  
く  
映  
し  
し  
や  
ぼ  
ん  
玉

四  
隅  
か  
ら  
動  
き  
始  
め  
て  
藤  
の  
花

五月雨や王朝古典読み続け

古書店の深き奥行き注連飾

転々とある落椿康成忌

蚊柱の貫く意志の移動せり

駆け上がる一本の道大花火

時計塔冬の日差しを集めけり

稲  
光  
途  
切  
れ  
途  
切  
れ  
の  
絵  
巻  
物



### 著者略歴

浅田光喜（あさだ みつよし）  
昭和31年8月12日 茨城県石岡市生まれ  
國學院大學文学部卒業  
平成7年 「対岸」入会  
平成14年 「対岸」16周年記念コンクール  
評論の部 優秀賞  
平成17年 「対岸」19周年記念コンクール  
俳句の部 最優秀賞  
評論の部 優秀賞  
現 在 「対岸」晴天同人・編集部員  
俳人協会々員

---

句集 えまきもの 絵巻物 本阿弥俳句選集6期  
2006年11月25日 発行  
定 価：本体2500円（税別）  
著 者 浅田光喜  
発行者 本阿弥秀雄  
発行所 ほんあみ 本阿弥書店  
東京都千代田区猿樂町2-1-8 三恵ビル 〒101-0064  
電話 03-3294-7068（代） 振替 00100-5-164430  
印 刷 三和印刷+クリエイティブダイトウ  
製 本 関山製本社

---

©Asada Mitsuyoshi 2006 ISBN 4-7768-0313-5 (2087)